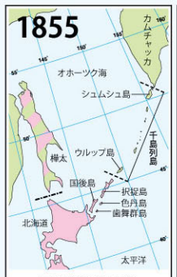
しゅんぺい日記

日本の領土問題について

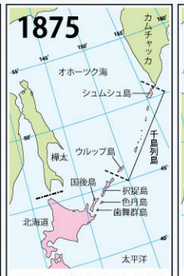
６月から自民党県連の青年局長を拝命し、初めて参加した研修で「北方領土」問題を詳しく知る機会を頂きました。現在、日本国内で「領土問題」として定義されているのは、韓国との「竹島」、そしてロシアとの「北方領土」の２つが定義されています（外務省資料参照）。尖閣諸島については歴史的にも国際法上も明らかに日本固有の領土であり、日本が実効支配しているためそもそも領土問題は存在しないというのが日本の立場です（中国は何の歴史的事実がないにも関わらず一方的に自国の領土と主張し、「領土問題化」しようと領海侵犯を繰り返している）。

北方領土を巡る歴史を振り返ると残っている資料で最も古い記録は1644年の江戸時代の初期に遡ります。さらに1855年日魯通好条約では北方四島が明確に日本領土であることが両国で確認されました。そして敗戦後、日本が降伏したにも関わらず、ロシアが不法に島を占領しました。1951年のサンフランシスコ平和条約の署名では日本は千島列島と樺太の領有権を放棄しましたが、北方領土はそこに含まれていないため、日本の主権回復と同時に領土回復となるはずでした。しかし、ロシアはその条約への署名を拒否し、1956年のロシアとの国交が回復した日ソ共同宣言では両国の意見は最後まで一致せず北方領土問題は棚上げされ、現在に至っています。

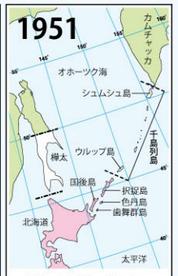
今回の研修で実際にお話を聞いた得能さんは現在88歳、そして元島民の平均年齢は87歳です。現在はコロナやウクライナ情勢の影響でビザなし交流や元島民の墓参も中断しています。元島民の皆様の想いに応え、政府を動かすためにも全国の地方議員が同じ日本国民として関心を持ち、声を上げていくことが領土問題解決への一助になると信じて私も活動を行っていきます。



日魯通好条約
日露国境を択捉島と得撫（うるっぷ）島との間に設定。樺太については国境未画定。



樺太・千島交換条約
樺太の一部に対する権利を譲渡。得撫島から占守島の千島列島（18島）の領土権を取得。



サンフランシスコ平和条約
得撫島から占守島の千島列島と樺太の一部の権利、権原、請求権を放棄。

南部しゅんぺい活動報告

議員以外の活動では様々な役職をいただき、日々修練の毎日です。論語の一節に「三十にして立ち、四十にして惑わず」とあります。将来多くの方を助けられる人間になるため、今できる経験をしっかり積み重ねていきます。

なんさん会（若手中心の企業後援会）総会にて

隼の会（地元後援会青壮年部）活動にて

熊本ＪＣ野球大会にて

地元夏祭りでは司会を務める

月に２回実施している対話集会にて

Profile 南部 隼平 なんぶ しゅんぺい

熊本市東区託麻地区（上南部）出身 1985年（S60）1月20日生 二児の父

《経歴》
平成３年 熊本さくら幼稚園卒園
平成９年 熊本市立託麻北小学校卒業／野球部主将
平成12年 熊本大学附属中学校卒業／野球部主将
平成15年 熊本県立濟々黌高等学校卒業／野球部
平成20年 川崎医療福祉大学理学療法科卒業
平成29年 医療法人社団熊本機能病院退職
平成29年 株式会社 Smart Growth を起業
令和元年 熊本県議会議員 初当選
令和４年 熊本県議会 厚生常任委員会 副委員長
令和５年 熊本県議会 総務常任委員会 副委員長
自由民主党 熊本県連青年局 青年局長

《地域の所属団体》
・交通安全指導員 ・青少年育成協議会 ・第26分団 消防団員

《その他の所属団体》
・くまもとモルックの会 会長
・KPB project 株式会社（火の国サラマンダーズ）社長代理
・農協東部支店青壮年部 顧問 ・託麻商工会青年部
・自民党熊本県連 青年局長
・熊本青年会議所 まちづくり委員会委員長
・黄壁城ライオンズクラブ 会長
・熊本市西倫理法人会 ・熊本市水前寺倫理法人会 会員
・たつだ保育園 理事 ・チヒロ保育園 顧問
・済々黌同窓会 代表評議委員 ・済々黌英霊顕彰 実行委員
・済々黌野球部OB会 ・済々黌野球部後援会
・大竹耕太郎後援会 事務局長
・熊本城稲荷神社 第35代福男

南部隼平ホームページ▶

南部隼平事務所 Tel 096-295-7972 Fax 096-221-6182
〒861-8010 熊本市東区上南部１丁目2-40 nanbushunpeijimusho@gmail.com

南部しゅんぺい後援会 会員募集 詳しくは南部隼平事務所 096-295-7972 までお問合せください。

新風 しんぷう 南部しゅんぺい県政レポート Vol.9

南部しゅんぺい２期目始動！

今年４月に行われた熊本県議会議員選挙では11,079票を頂き２期目の当選をさせていただきました。
１期４年間の経験を生かし、信念を持って県民の皆様のために大切に４年間働いて参ります。

当選後、まもなく開かれた５月の臨時議会において総務委員会副委員長を拝命しました。総務委員会は総務部、知事公室、企画振興部を中心に構成され、委員会の中で最も守備範囲の広い委員会です。その範囲の広さから「県が今何をしようとしているのか」を最も知ることができる委員会といえます。

６月定例会では、５回目の一般質問を行いました。改選直後ということもあり、準備期間が少ない中、私の得意分野であるスポーツ、少子化問題や交通、さらには幼児教育など多岐にわたって質問をしました。特に地元でもある運動公園の駐車場と渋滞の問題については翌日の新聞でも取り上げられ、皆様の関心の高さを感じました。

また、コロナも感染症分類が引き下げられ、社会生活も徐々に通常に戻りつつあります。我々としても各地への視察や研修等の活動が再開されています。議員視察については様々議論がありますが、好事例を政策に反映させ、皆様にもレポートや今年から開始したYoutubeチャンネルで情報発信を積極的に行っていきます。

令和５年６月定例会 一般質問 項目
1 スポーツの有する価値を高める県の取組
2 県民総合運動公園へのアクセス改善対策
3 少子化対策に向けた結婚支援
4 非認知能力を伸ばす幼児教育
5 新規就農者確保の取組
6 ＴＳＭＣ進出に伴う熊本市東部地区の道路整備
※議会質問と答弁の詳しい内容は内面をご覧ください。

阿蘇立野ダム視察にて

南部しゅんぺいYouTubeチャンネル開設しました。

南部隼平一般質問（抜粋）令和５年６月13日（火）

１. スポーツの有する価値を高める県の取組

南部質問） ４月に熊本の経済発展、健康増進、青少年育成、社会貢献等の理念を掲げ、主要プロスポーツ３チームと熊本市が参画し、熊本スポーツユナイテッドが設立された。スポーツ庁はスポーツを成長産業と位置付け、広島県は県のスポーツコミッションが中心となり、福岡県は産学官連携組織で地域課題解決に取組んでいる。行政が関わることで、スポーツの発展、経済効果に繋がると考える。一昨年、県で官民一体のスポーツコミッションが立ち上がったが、役割はスポーツツーリズムの推進や大会誘致などである。県内７市町にも設立されているが、県は各地の活動を促進し、スポーツの価値を生かし、サポートする必要があるのではないか。
そこで、（１）プロチームと連携し、地域をどう盛り上げていくのか、（２）地域活性化、子供たちの夢実現、健康増進など県スポーツコミッションの今後の在り方について、知事に尋ねる。

知事答弁） （１）熊本県スポーツツーリズム推進戦略を策定し、地域スポーツの掘り起こし、体験型プログラムの創造、スポーツ大会の誘致を三本柱とし、地域を盛り上げる取組を進めている。今後も、市町村、地域コミッション、プロスポーツチームと連携し、スポーツを生かした地域の活性化に取り組んでまいる。
（２）スポーツコミッションは、スポーツ界、経済界など10団体で構成し、多様な意見を活動に反映し、取組を進めている。設立して１年半、国際スポーツ大会誘致など県民に元気を与え、経済波及効果のある取組に注力し、今後、スポーツの持つ様々な力が生かせるよう、コミッション活動の充実に努めてまいる。

南部） **スポーツの有する価値はひと昔前と比べると様々な分野に広がりをみせています。現在、県ではスポーツコミッションのある観光戦略部、スポーツ施設を持つ教育庁、地域振興を担う企画振興部、健康に関わる健康福祉部と考えられるだけでその裾野は多くの分野にまたがります。これら多岐にわたるスポーツの価値を最大限活かすには、広島など他の県も行っているように、新たな組織を知事直轄の組織として作る等、今以上の組織の拡大を要望します。**

２. 県民総合運動公園へのアクセス改善対策

南部質問） 運動公園内は、駐車場が約２千台配置されているが、大きなイベント開催時は大変混雑し、運動公園北側の道路やメイン駐車場出入口の南北線など周辺は大変な渋滞が起こる。
昨年、県主導でアクセス改善に取り組むと発表され、ロアッソ熊本開幕戦では大きな混乱もなく、住民からは違法駐車が減ったとの意見もあり、一定の効果は出ていると思う。だが、先日の高校総体では臨時を含む全駐車場が満車、ロアッソ戦が他イベントと重なる日は、朝８時でほぼ満車であった。園内移動も今後の改善が必要と考え、安全面の課題はあるが、周遊バスや自転車など、利用者の需要を踏まえた検討が必要ではないか。そこで、運動公園のアクセス改善対策取組の経過とさらなる改善に向けた取組について、企画振興部長に尋ねる。

企画振興部長答弁） アクセス改善策は、県が主体的に取り組み、本年２月のロアッソ熊本開幕戦から実証事業を行っている。想定される利用者数に応じ、多目的グラウンド等を臨時駐車場として活用し、パーク・アンド・バスライドの実施やシャトルバスの運行、駐車場誘導員の配置や臨時退出路の設置、駐車場混雑情報のＳＮＳ等の発信も行っている。自家用車以外での来場者増加が重要と考え、今後の実証事業を通じ、より良い施策の在り方や周知方法等について検証してまいる。また、駐車場増設についても検討を進めていく。

南部） **駐車場の混雑状況に関しては、以前に私自身も大変困った経験をしました。駐車場の状況がリアルタイムでわかるシステムの導入や、混雑時は一部有料化するなども検討してみてはと思います。また、園内の移動については駐車場が分散しているという課題に対して何かしらの対策をお願いします。**

３. 少子化対策に向けた結婚支援

南部質問） 少子化の根本的原因は、若年層人口の減少、若い世代の経済的不安定、晩婚化など子供を産む前段階で既につまずいているのではないか。生涯未婚率は1985年頃から急増しているが、子供数は昔と大きく変わらず、結婚できる環境づくりが少子化対策の第一歩と考える。埼玉県は、官民連携でＡＩを使った自動マッチングなど、出会いから結婚まで支援を行い成果を上げている。民間のマッチングアプリサービスを行政として取り組むことで、質が高く安心して利用できる環境が整うのではないか。そこで、これまで行ってきた結婚を後押しする取組、他県の事例を踏まえた今後の新たな取組について、健康福祉部長に尋ねる。

健康福祉部長答弁） 社員の結婚や子育てを応援するよかボス企業の普及促進や、市町村が行う婚活イベント等の取組を支援している。婚活サポーター等を「まちのよかボス」と任命し、行政機関、よかボス企業と地域ぐるみで取組を始めた。マッチングアプリ等は、人材確保や維持管理等を含めたコスト面で課題があり、有明広域行政事務組合や山鹿市など成果が上がっている好事例を踏まえ、効果的な方法を検討してまいる。また、今月設置した「こどもまんなか熊本」実現に向け、プロジェクトチームを中心に子供や若者、子育て世代の視点に立った少子化対策について議論し、全世代に意識変革、醸成を促す取組を検討してまいる。

南部） **日本にとっても、県にとっても「少子化問題」が解決すべき最も重要な課題であると認識しています。結婚の支援については県のスケールメリットを活かして主体的に市町村を、まとめていき、少子化対策に予算を配分し本腰をいれて取り組みを進めるようお願いします。**

４. 非認知能力を伸ばす幼児教育

南部質問） 少子化対策で保育料の無償化が進み、保育士不足による保育の質の低下が懸念される。幼児教育での非認知能力の重要性が注目され、米国では幼児期に非認知能力を高めると、人生の幸福度が上がることが示された。岡山県では、非認知能力を育む保護者向け研修が実施され、国でも議論が進んでいる。子育ての負担軽減による教育の質の低下は避けねばならず、幼児教育の質を担保する政策が重要である。今後、科学的根拠を基礎とした教育が重要と考えるが、非認知能力を伸ばす取組をどのように活用していくのか、教育長に尋ねる。

教育長答弁） 県は、幼稚園や保育所、認定こども園等の教育・保育の質の向上を目的として、令和２年４月に幼児教育センターを設置し、教員、保育士へ初任者研修や幼児教育アドバイザー育成研修を行っている。今後、非認知能力の重要性や育成事例を示したリーフレットを作成し、管理職研修に活用するなど、幼児教育施設での効果的な取組を支援する。親の学び講座でも本リーフレットを活用し、家庭教育の中で親子のコミュニケーション力等が育まれるよう取り組んでまいる。

南部） **認知能力である読み書きや計算などの勉強よりも、社会に出てからは非認知能力がベースにあることが社会を生き抜いていく上では大変重要だと思います。将来への確固たる投資として、科学的根拠のある指導方法といわれている非認知能力に着目した教育の推進をお願いします。**

非認知能力について➡

５. 新規就農者確保の取組

南部質問） 農業の人手不足問題は、担い手不足と働き手不足の側面がある。働き手不足は、海外からの雇用、非正規の雇用でやや増加傾向だが、担い手不足は高齢化割合が上昇、新規就農者は横ばいで減少に追いつかない。さらなる高齢化を考慮すると、あらゆる世代の新規就農者確保が急務である。過去５年間、県の新規雇用就農者は横ばいか、やや増加傾向だが、新規自営就農者は、やや減少傾向で農業を取り巻く環境の厳しさが大きな要因と考える。国の支援制度は49歳以下を対象に設計され、それ以上の年代の参入は難しい。全国５位の農業産出額を誇る県の農業を守るため、人材確保と定着の取組が重要と考える。そこで、新規就農者確保に向けた今後の取組について、農林水産部長に尋ねる。

農林水産部長答弁） 将来の担い手に育つ新規就農者の確保、育成が重要で、相談・研修・就農・定着の各段階で支援を行い、多様な就農に繋げている。各種就農相談は、新規就農支援センターでのワンストップ対応、就農前の研修段階では、認定研修機関で技術習得の支援を行い、必要な施設整備の支援は、国と県で最大４分の３を補助する事業を昨年度から実施している。また、生産資材等の価格高騰を踏まえ、中古ハウスの補修等を支援する補助上限額を引き上げ、初期投資の負担軽減を図る予算を今定例会に提案している。50歳代の就農希望者を支援する県独自の取組は今年度開始した。今後も、市町村や農業団体と連携し、新規就農者の確保、育成に取り組んでまいる。

南部） **多くの方から新規就農直後は安定した収入を得ることが難しいと聞いています。熊本の農業を守っていくためにも人の育成、確保が最も重要です。意欲を持った就農を希望される方々に寄り添い、切れ目のない支援を引き続き行なっていただければと思います。**

６. ＴＳＭＣ進出に伴う熊本市東部地区の道路整備

南部質問） ＴＳＭＣ進出により、熊本市が民間と連携し、市東部地区で工業団地を増設するという発表があったが、この地域は慢性的な激しい渋滞が問題となっている。周辺道路の東西を走る路線は比較的充実しているが、主要な南北道路である県道138号辛川鹿本線は整備が完了しておらず、渋滞は最も懸念するところではないか。そこで、ＴＳＭＣや新たな工業団地整備等の開発により懸念される渋滞問題を含む交通への影響をどのように考えているか、県道辛川鹿本線の整備をどのように進めていくのか、土木部長に尋ねる。

土木部長答弁） 市東部地区は、南北に国道443号、東西に県道熊本空港線が、小山町の道明交差点でＴ字路として交わり、菊陽町曲手の空港入口交差点まで重複して交通が集中し、交通処理機能が低くなり渋滞要因となっている。このＴ字交差点から北側に辛川鹿本線を整備することとし、市と連携して取り組んでいる。道明交差点を十字交差点に改良し、通称国体道路東西線までの南北約1.4キロ区間を一部バイパスとし、重複区間の交通が分散することで渋滞緩和を目指す。周辺は、市が半導体関連企業の誘致エリアを設定し、物流企業が専用倉庫建設の意向を示すなど、新たな交通需要も見込まれる。これまで、県・市間で設計を進め、現在も早期用地取得に向け、土地価格評価方法を協議している。引き続き、市と連携し、早期整備に向け取り組んでまいる。

南部） **今回、熊本市の工業団地の整備を発表したことで、地域の方々にとっても地域の活性化へ一歩前進したと期待の声が聞かれています。しかし、渋滞が非常に激しい、熊本市東部地域としては道路整備なくしては地域の発展はないと思います。ぜひ県と市お互いに主体性を持って協力し事業を進めていただければと思います。**

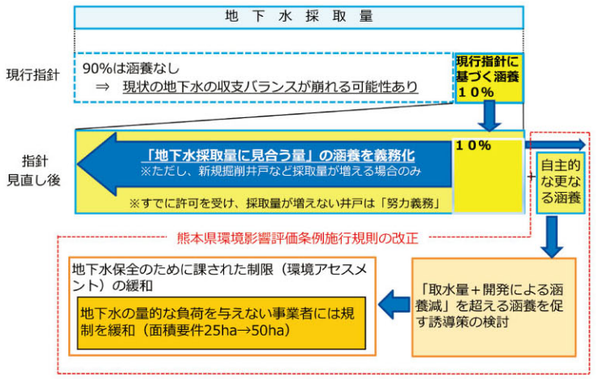
熊本県議会の録画映像をご覧いただけます
私の質問の模様はこちらから➡

Pickup　TSMC 進出の課題 ― 地下水問題について

この周辺地域内に立地する主な半導体関連企業と TSMC 工場を合わせた採取量は、日量約 33,000 ㎥（TSMC 新工場 12,000 ㎥ / 日）に上り、合志市と菊陽町の上水道分の合計に匹敵するといわれています。一方で TSMC 側は「高度な水回収・リサイクルシステムを導入することで、採取した地下水の 70% 以上を循環利用する」と説明しています。しかし、今だに県民からは「熊本の地下水は大丈夫か？」との心配の声をいただきます。

これを受けて、熊本県は「地下水涵養指針の改正」を進めています。その内容は図に示す通りであり、要するに「新しくできた工場で使った水は全部地下水に返してください」という改正です。この改正は「地下水を守る」という県の覚悟の表れとして良い取り組みです。

県民の宝である地下水の安全のためにも早急な指針の変更が望まれます。議会としてもその指針が確実に機能し、新規事業者の皆様が計画に沿って涵養を進めていくよう監視していく必要があります。

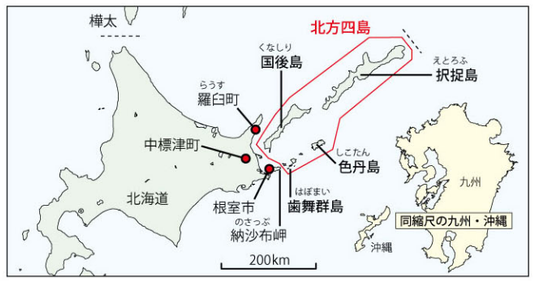


◀上図（地下水涵養指針の見直し）について詳しくはこちらをご覧ください。

参考資料
半導体関連産業と環境保全の両立に向けた熊本県の取組み

自民党青年局　北方領土研修

7月19日～21日までの３日間、北海道東部の中標津町、根室市、羅臼町にて自民党青年局による全国研修会が開かれました。北海道東部の基幹産業である酪農の最新技術についての視察や北方領土の元島民の方との交流、歴史について大きな学びとなりました。初日に伺ったファームノート牧場では、乳牛一頭一頭のデータを細かく点数化し管理することで、その乳牛のコストパフォーマンスや、適切な搾乳のタイミング、繁殖の妥当性、徹底した効率化とできる限り人の介入を減らした取り組みが進められていました。また、北方領土視察では歯舞群島や国後島を肉眼で確認しその近さを強く実感しました（歯舞群島は根室半島から約4km）。また根室市長との意見交換会や元島民の得能宏様の講話などをお聞きし、日本固有の領土であることを強く再認識しました。



中標津町ファームノート牧場にて

根室市 北方領土資料館にて